

2012年中における佐渡海峡の新潟～両津航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録

本間 義治¹⁾ 岩下 雅彦²⁾

Sighting records of whales by Sado Kisen (Sado Line ships) operating on the Sado Strait, Sea of Japan, during 2012

Yoshiharu Honma¹⁾ and Masahiko Iwashita²⁾

要 旨

今回の報告は、佐渡海峡の新潟～両津航路における佐渡汽船ジェットフォイル(J)とカーフェリー(F)による鯨類目撃記録を、2012年分について纏め、整理した結果を1994年からの結果と比較検討してみたものである。2012年はこの記録を取り始めた1994年以来次位の日撃回数であった前年(2011年:81回)に比し、半数以下の34回であった。目撃は2月に始まり、12月まで続いた。ピークは3月の11回で、9月も8回と高かった。2009年～2011年に比べると、1カ月早く出現したといえる。目撃時間帯は、早朝より夕刻(18時)まで満遍なく見られたが、10時、14時および17時に高かった。船種別による目撃数は、就航便数の多いJの方で25J/9Cとなり、この傾向は2010、2011も同様であった。群れクジラのみられるのは、8月からで、秋には、ハナゴンドウの群れが幾組も観察された。しかし、それ以外では種名の判明したものはなかった。遊泳方向の確認された個体数は、9S/5Nと南下が多かった。目撃個体数は減速区内に多く、ことに3～4pointsに集中していた。就航船の衝突事故は無かった。

Abstract

Following the previous paper (Honma and Iwashita 2012), sighting records of whales by Sado Kisen (Sado Line) jetfoils and car ferry boats operating in the Niigata- Ryoutsu-route, Sea of Japan, was compiled from January to December, 2012. Comparison was made among the instances of previous years investigated 1994-2011. Thirty-four instances, comprising 9 car ferries and 25 jetfoil observations were enumerated. The site of sightings was concentrated between the points 3.0 and 4.0 points in the Sado lane, divided into 5 points. The greatest number of sightings was in March, one month earlier than those of ordinary year. The time zone of higher frequency was concentrated in 10:00 a.m., 2:00 p.m. and 5 p.m., but sightings were thoroughly obtained in the daytime, from early morning to evening. It was usual that only single individual was observed by a sighting, but, the large numbers of one school was several tens animals for one occasion, absolutely consisting of *Grampus griseus*. The directions in which the whales were swimming (= migrating route) were noted 9 south and 5 north. Fortunately, there was no collision with cetaceans and other unknown large subjects in 2012.

既報のように、2009年の新潟～両津航路船(ジェットフォイルJとカーフェリーF)による鯨類観察記録は、この記録を海上浮遊障害物監視情報として1994年より取り始めてから(本間 1995; 本間・古川原 2001)、最大の件数(141件)が得られた年であった(本間・岩下 2010)。また、前年の2011年は81件で、2009年に次ぐ記録であった(本間・岩下 2012)。ところが、2012年はこれらに比し著しく少なく、34件に過ぎなかった。これら監視情報に基づく1994年以降の記録を、整理してグラフ化してみたが、規則性は認められず、むしろ偶然性の結果を纏めてきたように見える(図1)。2012年中に佐渡航路で目撃数が少なかったことは、佐渡海峡を通過する個体数が少なかったこ

とに基因しているのであろう。しかし、対馬海峡を通過した後、佐渡島の沖合ないし日本海中央部に遊泳していく鯨類数がどのような傾向にあったかについては不明であり。もし実施されたとすれば、捕鯨船の目視調査以外には資料は無いと思われる。

次に、鯨類の出現がいつ(何月に)多いかを検討したところ、3月(11件)と次いで9月(8件)であり、2月と4月も他の月より多かったので、例年より1カ月ほど早く見られたといえる(図2)。これら鯨類が目撃された時間帯は、午前10時、午後2時(14時)、午後5時(17時)であり(図3)、2011年に午前10時をピークに、午前7時と午後2時(14時)に多く、2010年には午後1時(13時)(本間・岩下 2012)に、過去で最も多数の観

1) 新潟大学〒951-8018 新潟市中央区稲荷町 3460-55

1) Niigata University School of Medicine, 3460-55 Inarimachi, Chuou-ku, Niigata 951-8018, Japan.

2) 佐渡汽船シブメンテナンス株式会社〒950-0078 新潟市中央区万代島 9-1

2) SadoKisen Ship Maintenance Co. Ltd. Bandaijima 9-1, Chuou-ku, Niigata 950-0078, Japan.

察結果の141件が確保された2009年には午前10時をピークに、午後4時(16時)にも高かった(本間・岩下2010)。これら午前にも午後にも多い年変動を考慮すると、時間帯にも一定の傾向が把握されないとっても差し支えあるまい。

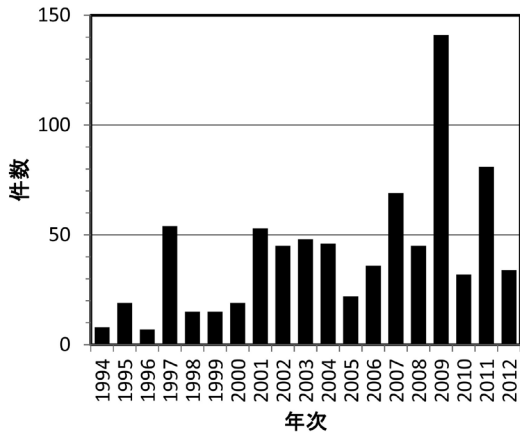


図1 佐渡航路就航船(新潟～両津航路)におけるクジラ類の年次別目撃記録(1994～2012)

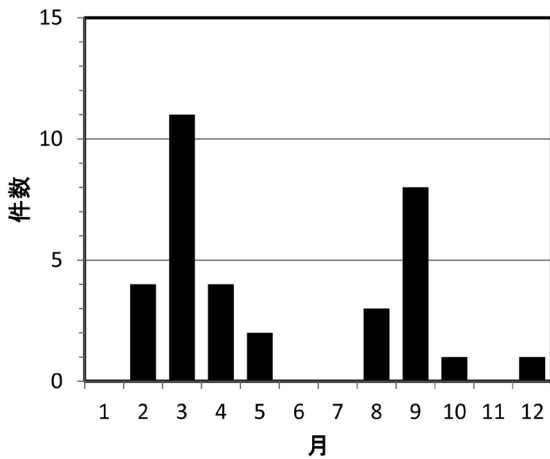


図2 佐渡航路就航船(新潟～両津航路)におけるクジラ類の月別目撃記録数(2012)

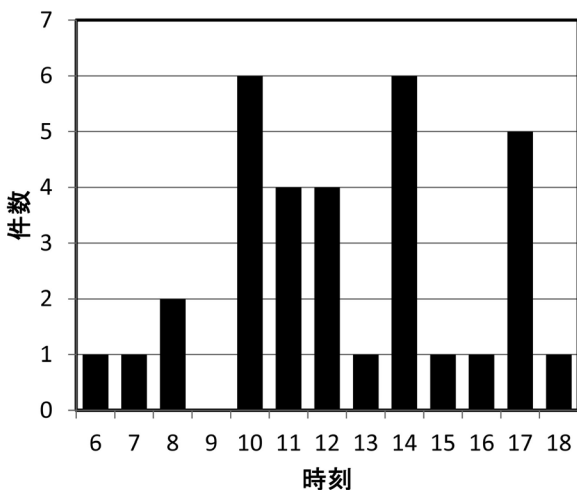


図2 佐渡航路就航船(新潟～両津航路)におけるクジラ類の時間帯別目撃記録(2012)

就航雇備船別では、就航便数の多いJ(25件)の方がF(9件)より多く(表1)、これはここ数年の傾向と同様である。今回は、遊泳方向が確認された件数が少なかったが、一応N(5)/S(9)であり(表2)、2011年が16/14、2010年は13/13、2009年は34/47という値と比べると、一応方位は一定していないようである。この点は、春先に大群をなして北上するカマイルカなどとは異なるといえる。

表1 佐渡航路就航船(新潟～両津航路)におけるジェットフォイル(J)とカーフェリー(F)のクジラ類目撃比(2000～2012)

年次	J—F
2000	13—4
2001	46—8
2002	32—14
2003	42—5
2004	32—14
2005	16—6
2006	25—11
2007	48—21
2008	36—7
2009	102—39
2010	24—8
2011	52—29
2012	25—9

表2 佐渡航路就航船(新潟～両津航路)における遊泳方向目撃記録(2012)

方位頻度	N	NE	E	SE	S	SW	W	NW
	5	1	1	0	9	0	1	0

最後にこのシリーズの報告に際していつも記していることであるが、1977年5月に就航したJが、その後2006年5月までに17件の衝突や接触事故を起こし、人身事故もあったことから船客にも航走にもきびしい監視体制を行うようになった。5区分(point)した航路程に減速区間を設定した後も、燃料費の削減も加わって度々減速区間を拡張したりしてきた。2012年も3～4pointsに目撃個体数が多く、また就航船の衝突事故も無かったことから、初期の目的は達成されたといえる。

引用文献

本間義治(1995) 佐渡海峡の佐渡航路(佐渡汽船)における鯨類目撃記録—1994年度. 新潟県生物教育研究会誌, (30):39-43.

本間義治・岩下雅彦(2010) 2009年中における佐渡海峡の新潟～両津航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本セトロロジー研究, (20):17-19.

本間義治・岩下雅彦(2012) 2010年中および2011年中における佐渡海峡の新潟～両津航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録. 日本セトロロジー研究, (22):5-8.

本間義治・古川原芳明(2001) 佐渡海峡における佐渡航路船(佐渡汽船)による鯨類目撃記録の解析(1994年4月～1999年10月). 日本海セトロロジー研究, (11):7-13.